

広報

えりも

2011

7月号 №.872



新造船完成のお祝いに近隣住民も集まり、餅まきが行われました。

新造船の船旅を楽しむ

笛舞小学校の児童生徒が見学・乗船体験学習

6月17日、有限会社安保漁業（安保好光代表取締役）の鮭定置網漁船、第35漁盛丸がこのたび完成し、笛舞小学校の児童生徒60人に見学・乗船体験学習をさせました。

大きく真っ白な新造船にはたくさんの大漁旗が掲げられ、お祝いに集まった近隣住民が見守る中、笛舞港を出発しました。子どもたちは自分たちの学校がどんどん小さくなる様子を歓声を上げ、20分の船旅を楽しんでいました。

えりもワクワク森林づくり体験事業

植樹祭

六月三日、町とえりも岬の緑を守る会（平野正男会長）が主催する「えりもワクワク森林づくり体験事業植樹祭」が庶野国道沿いの旧上歌別牧野内で開かれ、えりも漁協女性部、えりも小、えりも岬小の児童など、二百五十人が参加しました。

国際森林年、新たなスタートに

岩本町長は開会挨拶で「今年は国際森林年。森と海を大事にするまち、えりも町の新たなスタートになる植樹祭として認識している」と話し、平野会長も「牧場整備でハゲ山となったこの山を元の姿に戻したいと植樹を始めたが、立派に木々が育ってきている」と植樹の成果を話していました。

開会式では、創立九十周年を迎える日高信用金庫から車イス四台の寄贈やクロマツ苗木などの提供があり、そのほか、北海道電力株浦河支店やえりも漁協女性部、北海道振興



竹の根に負けじと穴を掘る小学生



記念標柱を建てた町長ら関係者と小学生の代表者

（株）ススキノグリーンホテル）、大橋資材、株沿海調査エンジニアリングからも苗木などが提供されました。鹿侵入防止柵で囲まれた二か所の植樹場所、合わせて〇・二畝には、トドマツとオオヤマザクラがそれぞれ

自治会長会議

えりも岬連合自治会が震災対応を説明

町内各地区の自治会代表者が集まり、地区からの要望や提案、まちづくりについて話し合う自治会長会議が、五月二十三日に役場で開かれました。

町からは、三月に締結した北大との相互協力協定、町立診療所の内視鏡検査日の新設、自殺防止対策としての「心の健康づくり講演会」の説明をしました。

また、「協働によるまちづくりの実践発表」として、三月の大震災におけるえりも岬地区の対応を、えりも岬連合自治会の駿河秀雄会長が説明しました。駿河会長は、昔から助け合う地域



防災についての質問が多く寄せられた。

の絆を話し、他の自治会長からは、「自分たちも見習うべきだ」との声が寄せられました。

れ二百本用意され、スコップを手にした参加者は、大事そうに苗木を植えていきました。一部、笹の根が生い茂る場所もあり、小学生は歯を食いしばって植樹用の穴掘りに挑戦していました。

植樹後には、えりも小の児童が、昨年自分たちで植えたトドマツなどを確認しようと山頂付近まで足を運



高齢者医療制度 後期高齢者医療 保険証の更新手続きが 必要です

黄色の保険証と
薄いオレンジ色の認定証

有効期限は
今年の七月三十一日まで

病院などに受診するときに必要な黄色の保険証（正式名・後期高齢者医療受給者証）と薄いオレンジ色の認定証（正式名・限度額適用・標準負担額減額認定証）が、七月三十一日に有効期限を迎えます。

更新手続きが必要な方には、直接役場から日程や更新場所をお知らせした通知が届きますので、必ずご覧の上、手続きをお済ませください。

**保険料は
七月中旬頃にお知らせ**

七月中旬頃に、保険料の額を書いた「保険料額決定通知書」を個別に送りますので、金額や納付方法などを必ずご確認ください。

保険料が年金から差し引かれていく方（十月以降に差し引かれる予定

の方も含みます）は、申し出により、口座振替で納めることもできます。

なお、年金からの差し引きを中止するには、申し出

から約三か月かかりますので、あらかじめご了承ください。

**保険料の
負担割合が変わる方も**

七月末までは、平成二十一年の所得で負担割合を判定していましたが、八月からは、平成二十二年中の所得で判定します。

このことから、前年の所得に変動がある方は、医療機関の窓口負担割合が一割負担から三割負担へ、また



は逆に三割負担から一割負担へと変更になる場合があります。変更となる方には、更新の時に説明いたします。

保険証の再発行

もし、保険証を無くしたり、破つたりしたときは、役場保健福祉課で手続きをしてください。その日のうちに交付できます。

北海道後期高齢者医療広域連合

☎〇一一―二九〇―五六〇―

役場保健福祉課医療給付係

☎二―四六二二

**高額療養費の
申請について**

後期高齢者医療広域連合から、高額療養費の支給申請についての案内が届いた方は、同封の申請書に金融機関名や口座番号などを記入して送付するか、もしくはお手数ですが、役場保健福祉課まで、手続きに来てください。

一度手続きすると、口座などの変更がなければ、高額療養費が発生するたび、自動的に申請された口座へ振り込まれる仕組みになっています。

振り込め詐欺にご注意を！

広域連合や役場、社会保険事務所などの職員を装った詐欺目的の不審な電話が発生していますので、ご注意ください。

■道内で実際あった手口

「医療費を還付します」などと偽って、現金自動預け入れ払い機（ATM）を操作させて金銭をだまし取ろうとする手口がありました。

職員がATMで振込を依頼することはありません。



町議会

六月定例議会が六月二十二日に開催され、町長の行政報告と教育長の教育行政報告、一般質問、予算の補正、条例の改正などの審議が行われ、提出された全議案を原案どおり可決して閉会しました。

◆一般行政報告

●札幌えりも会との交流

札幌えりも会は、会員相互の情報交換と親睦を通じて郷土愛を育むことを目的に活動しており、ふるさととその特産品の紹介・PRを推進していただいています。

五月二十一日に開催された交流会には、町から十五名、会員のみなさんは五十七名が出席し、「ふるさと会」の親睦を深めました。

札幌えりも会の会員は、高齢化などにより減少傾向にありますが、会としても若年層の加入に期待を寄せられており、今後も会員相互の連携を密にして、新規加入を促進していくとすることでありました。

今後とも会の維持発展に協力していきたいと考えています。



●自治会長会議の開催

本年度の自治会長会議を五月二十三日に開催しました。

町からは、北大と締結した「相互協力協定」の目的と具体的な事業などの計画や、町立診療所の「内視鏡検査日」の新設、「心の健康づくり講演会」の開催について説明し、理解と協力を求めました。

また、各自治会の要望事項についても、順次、その解決に努めていくことで了解を得たところです。

さらに、「協働によるまちづくりの推進」については、えりも岬連合自治会から三月十一日に発生した東日本大震災による津波対応の実践発

表があり、まさに、協働のまちづくりの最たる一例を話していただきました。

今後は、その先駆的な取り組みを潮流として、協働のまちづくりがさらに広がることを期待しているところです。

●巡視船の継続配備に関する経過

浦河海上保安署から、平成二十四年三月末に全国の巡視船、巡視艇の再配置を予定しており、同保安署に配属されている「巡視船もつら(三〇〇ノ型)」が、それより小型の「巡視艇わかぐも(一〇〇ノ型)」に置き換わるという連絡を受けました。

日高沖海域における監視、取り締まり、啓発を充実させるには、巡視船を配属させる必要があることから、日高町村会を始め日高総合開発期成会が、海上保安庁及び第一管区海上保安本部さらに道内選出国会議員に対して、継続して巡視船を配属するよう緊急要望したところです。

海上保安庁からは、現在の「もつら」よりも、次に配属予定の「わかぐも」は速度が速く、さらに赤外線調査も可能ということから、性能面では「わかぐも」の方が優れているとのこと。

また、巡視艇が配属された場合で

も室蘭海上保安部配属の巡視船を常時沖合で巡視させることから、これまでどおり、日高沖海域の安全確保に努めていく旨の確約を得ましたので、ご理解をお願いします。

●ホッカイドウ競馬

屋内調教用坂路施設の建設

ホッカイドウ競馬は、昨年十月に知事より存続が表明されました。今後は、軽種馬産業の活性化を図るためには、屋内調教用坂路施設の整備が必要不可欠ですが、その建設に当たっては多額の費用を要することから、日高町村会を始め、日高総合開発期成会ほか二団体と連携を図り、



ホッカイドウ競馬は、軽種馬産業の発展に欠かせない

農林水産省や国会議員に対して要望陳情を続けてきました。

その結果、事業費の三分の二を国からの補助金で賄え、残りの三分の一についても道へ要請し、この六月に予算措置が決定しました。これにより管内各町の負担は発生せず、来年二月には門別競馬場隣接地に当施設が完成する予定です。

今後のホッカイドウ競馬において、競走馬の競争能力の向上を図ると共に、馬産地の活性化が期待されます。

●「えりもうに祭り」について

えりも漁業協同組合主催による「えりもうに祭り」が四月三十日に灯台公園で開催されました。

開催に当たっては、三月十一日の東日本大震災の津波により、町内でもウニの斃死や種苗施設、漁家、漁船にも被害が出たことから、いったん祭りの中止を決めていましたが、東北地方を支援するため、収益金を義援金とするチャリティーイベントとして開催することとなりました。

当日は好天に恵まれ、さらに連休ということもあって、管内はもとより十勝や札幌方面から約二千人以上が詰めかけました。会場では、ウニを求めて朝早くから長蛇の列がで

たことから、一人一品の限定で整理券を配付し、用意していた活ウニ二百パック、むき身塩水ウニ二百八十一パック、塩漬ウニ四十五パックは、瞬く間に完売となりました。

また、ウニのほかにもツブ類やホッキ貝、守人のモツ鍋、マルデンやえりも食品の特産品も好評を博していました。さらに、町内の飲食店にウニ丼を求める人が殺到し、店外に列ができるほどの賑わいでした。

午後からは、「元氣だせ！餅まき大会」と題し、「地震と大津波被災、原発事故で、三陸沿岸は未曾有の苦しみに耐えている。えりも町も多大な漁業被害が出たが、まず、漁業が



2,000人以上が訪れた、大盛況の「えりもうに祭り」

元気を出して東北を応援しよう」と参加者に呼びかけ、灯台記念塔屋上からウニ無料券などの景品シールが付いた紅白の餅をまきました。

今回のように祭りでは、会場内での募金箱で七万三千九百二十八円、ウニの売上げから四十五万三千三百円、出店団体三社から十萬円の合計六十二万七千二百二十八円を義援金として、北海道漁業協同組合連合会を通じて被災地へ送ることとなっています。

本年の「えりもうに祭り」は、初開催ということもあって客数や客層が予想できない中、このような反響となったことから、来年以降えりも春の祭りとして定着できるよう、えりも漁協と連携を図りながら、より一層の工夫を行い魅力を高めていきます。

●緑化事業について

えりも岬の緑を守る会主催の「えりもワクワク森林づくり体験事業」が六月三日、桜岡・旧上歌別牧野内で、一昨年の北海道植樹祭会場に隣接する場所で開催されました。

当日は、えりも漁協女性部、えりも岬小学校の三年生以上の児童、さらに社会科の授業の一環として参加したえりも小学校四年生の児童を中

心に、町民約二百五十名の参加者がエゾヤマザクラ、トドマツ各二百本を植樹しました。

また、本年度は日高信用金庫が創立九十周年を迎えることから、その記念事業の一環として苗木の寄贈があり、パークゴルフ協会会員が中心となって、クロマツ三百本を百人浜パークゴルフ場内に記念植樹をしました。

さらに、本年度もえりも漁協女性部、北海道電力株式会社浦河営業所、北海道振興株式会社（ススキノグリーンホテル）、沿海調査エンジニアリング、大橋資材から苗木の提供、資金の支援と共に参加していただきました。

町といたしましても、えりも町が誇る「緑化事業」をさらに実り多いものとするため、これからも「緑の大切さ」を一人でも多くの町民に呼びかけ、豊かな森林づくりを推進していきます。

●国民健康保険税の税率改定

国民健康保険条例の一部改正条例を提案していますが、その主な内容は、地方税法施行令に基づく「課税限度額の引上げ」及び「医療給付分の所得割額の改定」です。

町民負担軽減を念頭に、ここ三年



6月から新たに内視鏡検査日設けた町立診療所

間、改定を据え置いてきましたが、医療費の増加傾向と目的税の趣旨などを踏まえた上では、将来の改定幅を最小限に留めるためにも、今年度の改定がやむを得ないものと判断し、提案しました。

●内視鏡検査日の新設

国保診療所が、平日の診療日に行っている「内視鏡検査」は、一般患者の診療を圧迫していることから、六月より毎週火曜日の午前に行うこととしました。

このことから、毎週火曜日の内科は内視鏡検査のため午前を休診とし、午後は内科定期葉患者の予約診療となります。

なお、当日の急性期患者については、外科で対応することとしていきますので、ご理解をお願いします。

●「高齢者福祉療ゆうゆう」の手すりの設置

昨年末に完成した「高齢者福祉療ゆうゆう」は、入居から六か月が経過しました。

この間、入居者の日常生活に対する施設の設備や機能の適合状況につ

◆教育行政報告

●教職員の人事異動

本年度の教職員の人事異動は、小・中・高合わせて、転出と退職で二十一名、転入は期限付き採用を含めて十九名でした。

●学校経営について

小・中・高の各主任の命課は、四月六日まですべて終えています。また、学校評議員は、本年度も二十七名を委嘱しました。

●指導主事の配置について

教育課程、学習指導その他学校教

いて点検・確認を行ってきた結果、より安全な生活環境を提供するため、居室内の移動と入浴時の動作をサポートする手すりの設置が必要と判断しました。

また、ケアホームいずみにおいても、同様の課題があることから、両施設の手すりの設置費用を本定例会の補正予算に計上しています。

育に関する専門的な事項についての指導助言のため、四月一日より教育委員会に指導主事を配置しました。

●巡回指導教員活用事業について

児童生徒の学力を高めるため、豊富な経験と高い専門性、実践的指導力を有する教員が学校を巡回し、チームティーチングによる授業や若い教員の指導、授業づくりの支援などをを行います。前年度に引き続き、えりも中学校の教員一名が、えりも岬小学校、庶野小学校を巡回指導することになりました。

●えりも高等学校について

本年度、第二十五期生として三十

八名を入学許可しました。今後一層、学習内容の精選を図り、少人数指導・習熟度別指導による学力の向上と個性の伸長に努めます。

また、学校・家庭・地域が一体となった教育活動を推進し、町民の負託に応える学校づくりを実践していきます。

●中高一貫教育の推進について

中高一貫教育の更なる発展を目指し、教育活動の内容や経過を示す「シラバス」の充実と学力向上、キャリア教育、環境教育及び特別活動の四つの活動を目標に掲げ、実践しているところです。

地域の教育力の結集による、生徒一人一人の夢を実現させることが連携の柱であり、さらに、確かな力を身に付け、社会の激しい変化に柔軟かつ、たくましく対応できる生徒像を目指しています。

●第五次えりも町社会教育中期計画の策定について

平成十九年度から進めていた「第四次えりも町社会教育中期計画」が最終年次を迎え、「第五次えりも町社会教育中期計画」を策定する段階となり、町社会教育委員、町体育指導委員の各委員に策定を諮問したと

ころです。

情報社会、国際社会、少子・高齢化社会へと変貌する社会環境の課題に対応した具体的方策が導かれるよう期待しています。

●社会教育委員の委嘱について

社会教育委員は、本年度が改選期であり、四月一日に九名を委嘱しました。

●高齢者スポーツ大会について

スポーツを通じた健康づくりと、参加者相互の親睦と交流を深めることを目的に、町内から九チーム、二百五十名が参加して、五月三十日に町民体育館で高齢者スポーツ大会が開催されました。

●社会教育団体について

社会教育団体は、ほとんどの団体が総会を終え、新年度の事業計画に基づき活動が開始されています。

なお、創立四十周年を迎える町文化協会では、講演会や吹奏楽演奏会を予定しています。

●郷土資料館事業について

五月三日、襟裳岬先端展望台でゼニガタアザラシ観察会を開催し、約二時間で百人ほどの観光客や町民に、ゼニガタアザラシと襟裳岬の自然、漁業との関係について伝えることができました。

また、五月二十八日には郷土食の一つである「よもぎもち」づくり体験、六月第一週より体験陶芸教室を



襟裳岬で、ゴールデンウィーク中の5月3日に行われた「ゼニガタアザラシ観察会」

午前部、夜の部で開催しました。町指定文化財「猿留山道」について

では、昨年度の復元ボランティア事業の際、歩行者の安全性を確保するために初めて実施した土木作業の事後調査を五月十九日に行いました。その結果、雪解けの影響もなく良好な状況でした。

●体育振興事業について

スポーツ公園の各施設は、四月二十三日に町営野球場とスポーツ公園を開放し、温水プールは四月二十九日にオープンしました。五月末までの入館者は九百六十四名でした。スポーツ団体は、町内外の各種大会に出場し、健闘しています。

地上アナログ放送が、 七月二十四日で終了します

準備ができていない方は、お早めに対応をお願いします。ご近所のみなさんにも「地デジ」は大丈夫か声かけをお願いします。

経済的にお困りの方などへは簡易なチューナー等の支援があります。

地デジ 臨時相談コーナー

役場庁舎ロビーにて開設中

地デジに関するパンフレットや、地デジのさまざまな疑問に答える「デジサポ」への直通電話を備えています。ぜひ、ご利用ください。

デジサポ道央
☎011-351-1155



ゴミ拾いを行ったE-PEARLSのみなさん

海と地域へ恩返し

当町出身者を中心とした二十代から四十代のサーフィン仲間によるグループ「E-PEARLS」(近藤一郎会長)が六月五日、近浦の海岸でゴミ拾いを行いました。

津波の影響のせい、木材や壊れたカゴ、絡まった縄などのゴミが見られ、また、空き缶やペットボトルも数多く集まりました。

参加者は「毎年、サーフィンで使わせてもらっているので、感謝の気持ちを込めてゴミ拾いをさせてもらっています」と、海と地域の方々に感謝を言葉を述べていました。



義援金を手渡す建設協会の菊地竹勇会長と岡崎謙次副会長、坂田充副会長(写真左から)



義援金を手渡す水道協会の佐藤寿博会長と岡崎謙次副会長、川村智也事務局長(写真左から)



感謝状を手にする工藤さん

工藤博則さんに 野生生物保護功労

六月六日、長年に渡り野生鳥獣の保護に尽力したとして、工藤博則さん(目黒)へ環境省自然環境局長から感謝状が贈られました。

工藤さんは、サケ・マス増殖事業協会猿留川ふ化場の場長を務めるかたわら、平成七年度から鳥獣保護員として月に三、四回地域の巡回パトロールを勤め、また、鳥獣保護区などの制札維持管理や疾病鳥獣の保

護、狩猟期はハンターに対して法令違反の未然防止に向けた指導や安全管理を行うなど野生生物の保護に関わる業務を行っています。

この日、日高振興局の遠藤環境生活課長から伝達を受けた工藤さんは「鳥獣保護員の仕事は自分に合っていると思うし、これからも続けていきたい」と話していました。道内では四人が受賞しています。

大震災の義援金

建設協会、水道協会が寄付

えりも建設協会(菊地竹勇会長)が五月二十日、役場を訪れ、東日本大震災義援金三十万円を日本赤十字えりも分区分を通じて寄付し、町へも災害復興金として三十万円を寄付しました。また、六月十三日には、えりも町水道協会(佐藤寿博会長)が三十万円を町へ寄付しました。

震災発生後には、両協会共に復旧に向けた対応を迅速に行っており、岩本町長は「復旧対応だけでなく、義援金までいただき、大変感謝しています」と話していました。

灯台記念塔を化粧直し

商工会青年部が奉仕活動

六月十一、十二日の二日間、えりも町商工会青年部（佐藤博久部長）が、灯台公園記念塔の化粧直しを行いました。

灯台公園のシンボルとして親しまれてきた記念塔ですが、数年前よりサビが目立ち始め、「七夕まつり星空ビアガーデン」や「灯台まつり」の出店などで利用している青年部が、「きれいに塗り直して町民みなさんに喜んでもらいたい」と町に申し出ていました。初日は、朝早くから足場が組み立てられ、部員は早速サビ落としとサビ止め作業を丁寧に行っていました。灯台の最上部は潮風にさらされ、特にひどい状態でした。翌日も早朝から色塗り作業が開始され、記念塔は見違えるようにきれいに塗り替えられました。通りかかった際には、ぜひ一度足を止め、生まれ変わった記念塔をご覧ください。



丁寧に色を塗る青年部のみなさん

公園の環境美化に一役

青年団体連盟が奉仕活動

えりも漁港に隣接するポートサイド小公園で六月十七日、えりも町青年団体連盟（佐々木優会長）の会員十二名による花壇整備が行われました。曇り空の中で作業は行われ、公園内のゴミ拾いと雑草取りから始まり、その後、マリーゴールドやペコニアなど百六十本の色とりどりの花々が、色合いを考慮しながら植えられました。



公園内の整備を行う連盟会員のみなさん

「札幌えりも会（相生武志会長）」の総会が五月二十一日、札幌市で開かれました。同会は、札幌市とその近郊に在住するえりも町出身者の集いで、昭和六十三年に設立されました。会員相互の交流と親睦を通じて、えりも町とその特産品を広くPRしていきます。今回の総会には会員五十七名が出席し、えりも町のPR活動などの事業計画が前年度に引き続き、承認されました。



会員と談笑する岩本町長

和やかにふるさと話 札幌えりも会総会

総会後に行われた交流会には、岩本町長や渡部町議会議長など十五名が出席し、会員との親睦を深めました。途中、えりも漁協や商工会などから寄贈された特産品が当たる抽選会が催され、トキ鯉が当たった七十代の男性会員は笑顔をほころばせていました。今回、初めて参加した会員の一人は「懐かしい顔を見ると、故郷のためにPR活動を頑張らなければいけないと思います」と話していました。

万が一に備えて

消防訓練大会

五月十五日、えりも町消防団の消防訓練大会がスポーツ公園多目的グラウンドで開催され、七分団から百二十八人の団員が参加し、消防技術の向上を図りました。

訓練は、小隊訓練、ポンプ車操作訓練、小型ポンプ操作



訓練の三つが行われ、どの団員も機敏な動作で訓練に取り組んでいました。

訓練消防
にう
剣行員
を団

消防えりも支署による、六月から義務化となった住宅用火災警報器の普及啓発運動が五月二



設置を呼びかける子どもたち

警報器、ちゃんとつけてね

住宅用家庭用火災警報器の啓発

十三日に行われ、中央保育所の幼年消防クラブと女性消防団員が協力し、コープさっぽろえりも店前で普及を呼びかけました。

肌寒い中、防火半てん姿の子供たちは、女性消防団の助けを借りながらも、大きな声で「よろしくお願ひします」と元気いっぱい。一人一人にパンフレットと粗品を手渡すと、訪れた町民から「寒いのに元気に頑張ってるね。ありがとう」と声をかけられていました。

各学校・保育所で運動会

庶野保育所ではスーパーマン登場



大好評だった、庶野保育所の「それいけ！スーパーマン」

六月五日の庶野小学校を皮切りに、町内の小学校や保育所では運動会シーズンを迎えました。

六月十九日に運動会を行った庶野保育所では、三十二人の子どもたちが走って踊っての大活躍を見せました。中でも、三歳児の競技「それいけ！スーパーマン」では、サングラスにマント姿のスーパーマンに扮した子どもたちがグラウンド内を所狭しと駆け回り、観客からたくさん声援を受けていました。

町内の運動会は、七月三日の中央保育所で一区切りとなります。



35cm未満マツカワ海中還元

函館市からえりも町までの太平洋側では、マツカワの放流を行っています。

この海域では資源保護のため、海区漁業調整委員会の指示により、全長35cm未満のマツカワは、漁業者も釣り人も海中に還元しなければなりません。

日高海区漁業調整委員会

☎0146-22-9328

すぐに大きくなるから
35cm未満は
海に戻してね！

放流8cm以上

えりも岬チームが優勝

高齢者スポーツ大会

五月三十日、「高齢者スポーツ大会」が町民体育館で行われ、町内各地区の老人クラブから二百五十名が参加しました。

毎年熱戦が繰り広げられるこの大会。中でも「幸運のイス」という競技は運の要素もあり、高得点を取ったお年寄りは、チームの仲間へガッツポーズをして喜んでいました。

大会は、昨年に引き続きえりも岬が優勝しました。



座るまで得点がわからない「幸運のイス」

やや重そうに杵を振る子どもたち



昔ながらの杵と臼で

よもぎもちづくり

郷土資料館の春の恒例行事「親子でよもぎもちをつくろう」が五月二十八日、同館で行われ、親子づれ十五人が参加しました。

まだ幼い子どもたちは、母親らの手助けを受けながらも懸命に杵を振る、時折笑顔を見せていました。鮮やかな緑に染まった餅は、早速自分たちであんころもちにして、参加者みんなで味わいました。

鮮やかな花々が咲き誇る

庶野漁協女性部が花壇整備



庶野漁協婦人部のみなさん

えりも漁協庶野事業所の信用部入口前に置かれたプランターの花々が鮮やかに

咲き誇り、来客者の目を楽しませています。

プランターは、庶野漁協女性部（金沢康子部長）のみなさんが設置したもので、五月十九日の磯掃除が終わった後に、マリゴールドなどの赤や黄色の色とりどりの花々を一时间ほどかけて植えたものです。

同女性部では、来年も設置したいと話しています。

平和な世界を誓う

戦没者慰霊祭

六月十六日、戦争で亡くなられた方々の英霊をしのんで、「戦没者追悼式」が福祉センターで行われました。

遺族や来賓など五十三名が出席し、出席者全員が黙祷を捧げたあと、岩本町長や来賓が戦争で亡くなられた方々のご冥福を祈り、戦争のない平和な世界の実現に向けて努力することを誓いました。



「戦没者英霊の碑」に向かい、黙祷をする出席者

式の終りには参列した遺族や来賓一人一人が「戦没者英霊の碑」に向い献花を行いました。

こんにちは保健師です

あなたは

自分のことが好きですか

「自己肯定感」という言葉を聞いたことはありますか。「この世に生まれてきてよかった」と自分の存在を肯定できることを言います。

「自己肯定感」が低いと、心のエネルギーをコントロールすることができなくなり、心のエネルギーが「外に向かう」と暴力や犯罪など反社会的な行動に、「内に向かう」と不登校や引きこもり、情緒不安、うつなど心の問題を引き起こすと言われることがあります。

また「自己肯定感」は、仕事や学習能力、容姿の優劣とは必ずしも一致しません。

「自分のことが好きですか」

今、子どもだけでなく、親自身の「自己肯定感」が低い傾向にあり、虐待や育児不安が増えている要因の一つになっています。人は他者からの励まし

「自己肯定感」を育てる5つのポイント

- ①他者から「励まされる」経験の積み重ね
- ②どんな自分でも認めて受け入れてくれる存在
- ③興味・関心のあることを自分で確かめる、体験する
- ④成功感、達成感
- ⑤失敗や成功したことを「共感」してくれる存在



これらが希薄だと将来、非行、犯罪、リストカット、うつ、引きこもり、望まない妊娠・中絶などの問題を引き起こす可能性が高い

で、自分を認められるようになり、ます。「自己肯定感」のある大人になるためには、幼少期の「励まされる」経験の積み重ねが必要です。そして、その親を応援してくれる存在や環境があれば、自信を持つて子育てすることはできません。

「大丈夫、それでいいよ」

知り合いがいなかったり、赤ちゃんと二人っきりでいると、他者から認められる機会が少なくなり、ます。「がんばってるね」「大丈夫、それでいいよ」と身近なお父さんの言葉が一番の励ましになります。そして、自信を持つて子育てできるように、私たちも応援しています。

7月の保健メモ

(連絡先 役場保健福祉課 保健予防係 ☎2-4630)

行 事	実施日	時 間	会 場
麻しん風しん混合予防接種	5日(火)	15:30~16:00	町立診療所 (要予約)
離乳食教室〔ゴックンベビー〕	8日(金)	13:30~15:30	保健センター
日赤巡回診療	13日(水)、27日(水)	13:30~14:30	保健センター (要予約)
三種混合防接種	19日(火)	13:30~13:50	保健センター
B C G 予防接種		13:50~14:00	保健センター
ヒブワクチン		14:00~14:30	保健センター (要予約)
小児用肺炎球菌ワクチン		14:30~15:00	保健センター (要予約)
麻しん風しん混合予防接種		15:30~16:00	町立診療所 (要予約)
二種混合予防接種	28日(木)	14:00~16:00	庶野診療所 (要予約)

●ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種を保健センターで希望する場合

接種日の前週金曜日までに保健予防係まで電話予約が必要です。

●庶野診療所 (☎4-2219)

三種混合・BCG・麻しん風しん混合・ヒブ・小児用肺炎球菌の予防接種

①実施日……毎週月・木曜日

14:00~16:00

※要予約



●浦河日赤病院 (☎0146-22-5111)

麻しん風しん混合予防接種

①小児科外来申し込み……1期(1~2歳)・2期(小学校入学前1年間の小児)・3期(中学1年生の年齢に相当する者)

②医事課申し込み……4期(高校3年生の年齢に相当する者)

ヒブ・小児用肺炎球菌の予防接種

年齢を問わず、医事課にお申し込みください。

●広尾町かめだクリニック

ヒブ・小児用肺炎球菌の予防接種を受けることができます。希望の方は直接お問い合わせください。

(☎01558-2-4724)



《おすすめ本》

麒麟の翼

東野圭吾・著

寒い夜、日本橋の欄干にもたれかかる男に声をかけた

巡查が見たのは、胸に刺さったナイフだった…。大都会の真ん中で発生した事件の真相に、加賀恭一郎が挑む。

《一般書》

■オジイサン 京極夏彦

■ブランケット・キャッツ 重松 清

■はじめの穴終わりの口 井坂洋子

■島田紳助100の言葉 島田紳助

■女ぎらい ニッポンのミソジニー 上野千鶴子

■断捨離 私らしい生き方のすすめ 川畑のぶこ

《児童書》

■「和」の行事えほん1 春と夏の巻 高野紀子

■「和」の行事えほん2 秋と冬の巻 高野紀子

■ジャンヌ・ダルク 小学館版学習まんが人物館 阪東勲 写真

■クレオパトラ女王 小学館版学習まんが人物館 近藤二郎 監修

■しあわせは子猫のかたち 乙一

■哲夫の春休み 斎藤惇夫

防災情報版 ⑨

災害教訓と防災力向上

東 日本大震災から四か月が経ちました。被害に遭われたみなさまに、改めてお見舞い申しあげます。六月二十八日には、福祉センターにて津波防災イベントが開催されました。災害経験を振り返り、教訓として伝えることは、将来の災害に備えるために重要な取り組みのひとつです。

十八年前の一九九三年七月十二日二十時十七分、北海道南西沖地震が発生しました。最大の被災地となった奥尻島の人々は、十年前にも津波災害（日本海中部地震・一九八三年）を経験していました。昼間の地震だったため、押し寄せる津波を高台から目撃した人が多数に上りました。そのため、奥尻島の人々は、地震Ⅱ津波という体験に基づく知識を生かし、避難行動を起こすことができました。その一方で、最短三分程度で津波が襲来したため、避難が間に合わずに多くの命が失われてしまいました。船を引き揚げに港に行き、命からがら津波から逃れた、という人もいました。災害は個性的なので、過去の災害経験を教訓として生かしつつ、それだけにとらわれないことが大切です。北海道ならではの、季節性などを考慮することも必要です。

その夜の奥尻島では、イカ漁のため男性

が不在の世帯がありました。翌日のアワビ漁に備えて早く休み、睡眠中に地震に遭った人もいました。えりも町の七月はどうでしょう。コンブ漁が始まると、多くの方が漁や作業で海に行くと思います。三月十一日と同じ時刻に地震が発生しても、対応の仕方は異なるはず。寒さ対策ではなく、暑さ対策が必要になるかもしれせん。災害発生時の天気・時間帯を色々と想定した上で、非常時持ち出し品の整理、避難所への行き方や家族との集合場所の確認などをお願いします。

二十日には、町内の中学生・高校生と当センターのスタッフが津波の学習を行います。大人の方々には、ぜひ、応援とご協力をお願いします。そして、折に触れて過去の災害経験を伝えてください。体験は伝えないと風化してしまいます。子供から大人まで、それぞれの世代にできる防災の取り組みがあります。あらゆる世代の様々なやり方を通して、えりも町全体の防災力を高めていきましょう。



定池 祐季

北海道大学大学院理学研究
院附属地震火山研究観測セ
ンター・助教、博士（文学）。
中学生の時、北海道南西沖
地震を奥尻島で経験する。
公務員、NPO勤務、神戸市に
ある「人と防災未来センタ
ー」研究員を経て2011年4
月より現職。

お知らせ



自衛官を募集しています

防衛省では、次のとおり各種自衛官の募集をしています。

●お問い合わせ先

自衛隊札幌地方協力本部 静内地域事務所
☎〇一四六―四四―二二二一

募集種目	資格	受付開始
一般曹候補生	18歳以上27歳未満の者	8/1～9/9
自衛官候補生(男)	通年	8/1～9/9
自衛官候補生(女)	18歳以上27歳未満の者	8/1～9/9
航空学生	高卒(見込含)21歳未満の者	8/1～9/9
看護学生	高卒(見込含)24歳未満の者	9/5～9/30

新規高卒予定者の求人受付開始

ハローワークでは、平成二十四年三月新規高等学校卒業予定者に係る求人受付を六月二十日から開始しました。

今年度も就職希望者の多くが地元での就職を希望しています。

厳しい経済・雇用情勢が続いておりませんが、一人でも多くの若者が地元就職し、地域経済・社会の活性化が図られますよう、早期に採用計画を決定していただき、求人申込をお願いたします。

●申込・お問合せ先

ハローワークうらかわ
☎〇一四六―二二―三〇三六

夏の交通安全運動

七月十五日から二十四日までの十日間は、「夏の交通安全運動」が行われます。

夏季は、昼間の時間が長くなることから活動範囲が広くなり、これに伴う長距離運転や、暑さなどからくる注意力の散漫による事故が多発します。

交通ルールを守り、思いやりのある交通マナーで、事故を起こさないように気をつけましょう。

町職員採用資格試験

日高管内の各町一般事務職員(初級・上級)採用資格試験を、次のとおり予定しています。

▼受付期間

七月十一日～八月五日

▼試験日

九月十八日

▼場所

新ひだか町公民館

●お問い合わせ先

役場総務課庶務係
☎二―二二―一

防火水槽への接触事故にご注意を

えりも町内には防火水槽が115基あります。これらの施設に自動車などが衝突する事例が発生しています。防火水槽への接触事故にご注意ください。場合によっては穴が開き、人が落ちると重大な事故につながります。

「防火水そう」の標識がある付近で異状に気づいた方は、消防えりも支署(☎2-2038)までお知らせください。

また、防火水槽・消火栓付近は道路交通法により駐車禁止場所となっています。防火水槽・消火栓付近に駐車車両があると消防活動の妨げとなりますので、駐車はご遠慮ください。

ご存知ですか？国民年金基金

国民年金基金は、国民年金の上乗せ年金として創設された公的な年金

あつまれ！一歳児



すくのび

「すくのび」は、「すくすくのびのび育って」の願いを込めたタイトルです。



ささきしょう
佐々木翔鳳くん
(淳・祐果)

H22.7.15生(新浜)

毎日お兄ちゃんを追いかけて遊んでいます。

【小学生期】	一人遊びの多い子ども	7/8~7/14
【中学生期】	共働き家庭での育て方	7/15~7/21
【親の学習】	保育園や幼稚園で気になる子ども	7/22~7/31
【幼児期】	現代っ子と食の役割	8/1~8/9

☎ 2-3715

入できます。次のようなメリットがあります。

- ①掛金は全額社会保険料控除となり、税金が軽減されます。
- ②加入したときの掛金や受け取る年金額は変わりませので、自分に合わせた年金設計ができます。
- ③保障付に加入した方が保証期間内に亡くなられた場合、遺族の方に一時金が支給されます。

くわしくは、北海道国民年金までお問い合わせください。

●北海道国民年金基金

☎ 〇一二〇―六五―四一九二

●弁護士相談

弁護士相談センターでは、次のとおり相談を受け付けています。相談には予約が必要です。

▼浦河相談所

七月十一日 十三時〜十六時

▼静内相談所

七月十三・二十・二十五・二十七、八月一・三日

八月一・三日

十三時三十分〜十六時三十分

■予約受付

月〜金曜日 十時〜十六時

☎ 〇一四六―四二―八三七三

♥ご厚志に感謝します

○大山英信さん（新浜）

新浜自治会へ

五万円

新浜自治会女性部へ

三万円

○荒井恵利子さん（庶野）

庶野中央自治会へ

三万円

○加藤勇一さん（大和）

高見自治会へ

五万円

○藤井淳逸さん（本町）

旭ヶ丘自治会へ

三万円

★社協のボランティアセンターへ

佐藤水産株式会社

佐藤水産株式会社



青き踏む今人生のどのあたり
 昼語り夜に逝く友黄水仙
 花園に一番乗りのクロッカス
 試歩の径我が前よぎる春の鹿
 うぐいすのこえの誘ふ登山道
 通園の子らのはずみし更衣

（えりも吟社）

石森美恵子
 曾田つゆ子
 手塚 澄子
 木村 武舟
 長岡 青風
 鈴木 周子

クールビズ始めます

役場や診療所などの機関において、今年度より7月から9月までの3か月間、クールビズ（夏季軽装）を実施することとなりました。



期間中、庁舎内等において、職員はノーネクタイや半そでシャツなどの軽装をして勤務しますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

代表取締役 佐藤 壽（札幌市）

加藤勇一さん（大和）

五万円

♡震災見舞金

震災見舞金として、次の方からご寄付がありました。この場を借りてお礼申し上げます。

○えりも町水道協会

三十万円

人のうごき

(平成23年5月31日現在)

近 浦	182人	67世帯
笛 舞	300人	121世帯
大 和	1,062人	451世帯
本 町	924人	412世帯
新 浜	682人	297世帯
歌 別	380人	144世帯
東 洋	413人	135世帯
えりも岬	567人	209世帯
庶 野	733人	272世帯
目 黒	174人	76世帯
合 計	5,417人	2,184世帯
(男 2,696人 女 2,721人)		
転入	1人	転出 15人
出生	2人	死亡 3人

税の納期

- ◆固定資産税 第2期
(納期限 平成23年8月1日)
- ◆国民健康保険税 第1期
(納期限 平成23年8月1日)



旧しゃくなげ公園ではツツジが満開に (6月15日)

風の館でイベントめじろおし



昨年の海の工作体験教室

- 襟裳岬の海藻標本展 (7月2日～29日)
- 講演会「最近、北海道から発見された新植物
～北海道にはまだまだ未知の植物が生きている。」
講師 国立科学博物館 研究主幹 門田裕一さん
(7月9日 18時00分～)
- 海の工作体験教室 (体験料300円)
(7月17日～18日 13時30分～)
- 海藻おしば体験会 (体験料300円)
(7月23日～24日 13時30分～)
- 「ひろ・くわおり暖ボール・アート」展 (7月30日～8月26日)
- あなたも暖ボール・アート作家に!
講師 ひろ・くわおり (7月31日 13時00分～)



昨年、好評を博したえりも町庶野出身のひろ・くわおりさんによる「暖ボールアート」展が帰ってきます。ひろ・くわおりさんは、7月31日に講師として、暖ボール・アートの講習会も行います。

7月の行事

23日	21日	20日	16日	15日
夏休みラジオ体操会(福祉センター前駐車場/6時30分)	夏休みラジオ体操会(福祉センター/優良13時30分・違反14時16時)	授業(えりも中学校・えりも高校/各体育館)	えりも高校学校祭(えりも高校/10時～17時・12時40分～行灯行列/パフォーマンス・16時25分)	夏の交通安全運動(～24日) 旧しゃくなげ公園(～24日) 旧しゃくなげ公園(～24日) 旧しゃくなげ公園(～24日) 旧しゃくなげ公園(～24日)



えりも高校の行灯行列